「古事記」・「日本書紀」編纂一三〇〇年記念
後鳥羽上皇隠岐遷幸八〇〇年記念

隠岐神社特別奉納　歌題「舟」

令和三年「隠岐後鳥羽院和歌大賞」

隠岐は承久の乱の後に歌聖・後鳥羽院が京の都からお遷りになった日本海の離島です。院は二〇年近い歳月を隠岐（現、海士町）でお過ごしになられました。

海士町では島根県後援のもと「隠岐後鳥羽院和歌大賞」の作品を募集いたします。選者は藤原俊成、定家親子を祖とする和歌の伝統を今に受け継ぐ、冷泉家第二五代夫人の冷泉貴実子先生。投稿歌は後鳥羽上皇を祀る隠岐神社に奉納いたします。全国の古典と詩歌を愛する皆様方の〝志〟を投稿歌として奉納してみませんか。

令和3年は後鳥羽上皇海士遷幸800年。
GOTOBA-IN SENKO 800TH 1221-2021

＜冷泉流和歌の創り方・歌題について＞

和歌は、やまとことばで詠んでください。音読みする漢語、カタカナの外来語は使用しません。

◆歌題「舟」

道が整備されていなかった時代、最速の乗り物、輸送手段は舟でした。手でこいだり、風を帆に受けて走る舟が、川や海や湖を行き来していました。

橋の無い川では渡し舟も盛んでした。海士は舟を操って、漁をします。鵜飼い舟は、そのかがり火と共に夏の夜の風物として和歌に詠みます。

波を越えて大海原に出る舟、岸の柳や桜をめでつつ川を下る舟などを詠んでみてください。

＜募集要項＞

◇作　品　未発表の作品、歌題に沿ったもの　＊盗作・類似作品・二重投稿・判読出来ない作品は対象外とします。

◇投稿料　※今年度より、お一人様一組三首までのご応募とさせていただきます。

◇送金方法　三首一組　二〇〇〇円＝入賞・入選の方には「選歌集」を贈呈いたします。
①郵便為替（定額小為替、普通為替を郵便局で購入）、②現金書留、③郵便払込のいずれかをご利用ください。

※郵便払込をご利用の場合
郵便払込取扱票の通信欄に投稿料（二〇〇〇円）をご記入の上、払込みください。
口座番号　01360-6-111726
加入者名　株式会社　隠岐桜風舎

◇締　切　令和三年七月末日　＊当日消印有効

◇賞　『古事記』一三〇〇年記念大賞・隠岐後鳥羽院和歌大賞・冷泉家時雨亭文庫賞ほか

◇選　者　冷泉貴実子氏（冷泉家第二五代夫人）

◇主　催　島根県隠岐郡海士町

◇後　援　島根県・隠岐ユネスコ世界ジオパーク推進協議会

◇特別協力　公益財団法人冷泉家時雨亭文庫・隠岐神社

◇応募方法　郵便定額小為替（小為替には何も記入せず）と応募作品（所定の用紙または原稿用紙）を同封して郵送。

◇表彰式　令和四年を予定　※冷泉貴実子先生を囲んだ懇親会・隠岐島観光などのツアーも企画しております。

◇会　場　隠岐神社

◇問い合せ　〒684-0403　島根県隠岐郡海士町大字海士1521-1
海士町後鳥羽院資料館内
「後鳥羽院顕彰事業」事務局
電話　08514-2-1470
メール　gotobain@oki-ama.org
※他に、俳句・短歌部門もございますので、お問い合わせ下さい。
←ご投稿の際には左記の宛先を切り取って封筒に貼ると便利です。

冷泉貴実子先生

◇作品送付先
〒684-0403　島根県隠岐郡海士町大字海士1521-1
海士町後鳥羽院資料館内
「後鳥羽院顕彰事業」事務局（投稿在中）
歌門
和部

※令和元年度より株式会社隠岐桜風舎　詩歌部門が事務局を担当しております。

「古事記」・「日本書紀」編纂一三〇〇年記念
後鳥羽上皇隠岐遷幸八〇〇年記念
隠岐神社特別奉納　歌題「舟」
令和三年「隠岐後鳥羽院和歌大賞」

ふりがな 氏名	
ふりがな 筆名	
性別	年齢　　歳
住所　〒　　ー 都・道 府・県	
電話 番号	
メール アドレス	
所属 結社	
投稿 回数	初めて　・　2回目以上
発表会 について	①参加する　②検討中　③参加しない

投稿料のお支払方法に〇をつけてください。

①郵便小為替　②現金書留
③郵便払込（　　月　　日に払込）

投稿料：1組3首まで　2,000円

※作品には必ずルビをご記入ください。

一	二	三

事務局記入欄